

令和9年度入学生向け



墨田川をめざす
中学生の皆さんへ

東京都立墨田川高等学校

目 次

自校作成問題は社会につながる扉です!	1
令和8年度入学者選抜自校作成問題学力検査結果の概要	2
学力検査 自校作成問題と正答	
「英語問題」	7
「数学問題」	23
「国語問題」	54

自校作成問題は社会につながる扉です!

中学生の皆さん、まずはこの冊子を受け取っていただいたことに感謝申し上げます。そして、この自校作成問題に挑戦しようとする皆さんの姿勢に敬意を表したいと思います。

進学重視型単位制と呼ばれる学校は都立高校には3校存在します。墨田川高校はその3校の中の一つです。なぜ、皆さんは共通問題を採用している学校ではなく、この墨田川高校を選択肢のひとつに選んでくださったのでしょうか。東京都には多くの都立高校が存在し、それぞれに特色を持っています。墨田川高校にもいくつかの特色があります。自校作成問題の実施もその特色のひとつです。

墨田川高校は生徒さん一人一人が進学することを目標としています。進学を実現するために基盤となる姿勢は何でしょうか？それは、「チャレンジ精神」です。「挑戦する姿勢」です。少しでも学力を高めようと思うなら、躊躇することなく、妥協することなく、「新しい学び」に挑戦していくことが求められます。自校作成問題に挑戦することは、その第一歩なのです。妥協することなく、あえて挑戦するところに意味があるのです。ですから、その姿勢を持つ中学生の皆さんに敬意を表するのです。高校受験という難関を通過した皆さんなら、間違いなく本校の授業で学力を伸ばしていくことができるはずです。

しかし、他の都立高校を受検する場合と比べて、何か特別な勉強をしなければならないのでしょうか。決してそのようなことはありません。出題範囲は共通問題と全く一緒なのです。ただ、挑戦する受検生の皆さんに伝えるため、出題内容や方法にさまざまな工夫をしています。この冊子を活用し、臆することなく、その工夫に近づいてください。

これからの時代は、みんなと同じことを同じようにできることも大切ですが、それ以上に自分しかできない何かを追求することが大事になります。また、簡単に正解が見つからない社会になります。むしろ、正解が存在せず、自分たちで正解を創り出していくような社会になります。新しい課題や未知の課題に果敢に取り組むことができる人材が活躍する時代となります。まさに「挑戦していく姿勢」です。そして文武不岐の精神で教育活動に臨んでいる墨田川高校で磨くことのできる力が「知識の活用力」です。ただ、知識を身につけるだけでなく、「どのように知識を使うのか」「何のために知識を使うのか」が大切なのです。

さあ、この墨田川高校に集まって、自分の力を共に磨いていきましょう。皆さんの将来をデザインできるのは皆さんの力です。入試を乗り越えて、再び皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。

令和8年度入学者選抜自校作成問題学力検査結果の概要

1 受検者平均点

	国語	数学	英語	3教科
全体	68.3 (67.7)	36.7 (47.7)	59.9 (62.2)	55.0 (59.2)

得点(素点)	国 語	数 学	英 語
96 ~ 100	1		3
91 ~ 95	3	1	2
86 ~ 90	10	0	9
81 ~ 85	27	0	11
76 ~ 80	44	0	11
71 ~ 75	40	2	23
66 ~ 70	50	1	38
61 ~ 65	29	7	39
56 ~ 60	25	12	29
51 ~ 55	20	13	36
46 ~ 50	17	26	32
41 ~ 45	5	36	15
36 ~ 40	0	37	12
31 ~ 35	1	51	8
26 ~ 30	1	37	4
21 ~ 25	1	22	2
16 ~ 20		14	
11 ~ 15		6	
6 ~ 10		6	
0 ~ 5		3	
受検者数計	274	274	274
平均点	68.3	36.7	59.9

3 教科別（国語、数学、英語）の分析

(1) 国語

ア 小問正答率

右表の通り

イ 学力検査問題の分析

① 漢字の読み・漢字の書き取り

読みの問題では、(1)挙措、書きの問題では(7)退庁の正答率が低かった。読み・書き取りとも日常的に用いる語句を中心として出題をしているので、日ごろから積極的に辞書を引くなどして語彙を増やしてほしい。また、同音異義語にも注意する必要がある。

② 文学的な文章

いとうみく『蒼天のほし』から出題。全体的に正答率が高かった。今年度は問4で、会話文と資料を踏まえ、複合的に考えて解く問題が出題された。すばやく処理できるかが鍵となった。問5は文章全体の表現の特徴を問う問題である。選択肢に示された事項について丁寧な確認作業が必要となる。

③ 説明的な文章

國分功一郎『手段からの解放』から出題。説明的文章は、筆者の主張を丁寧に追いながら、正確に読み取る必要がある。問4の正答率が低かった。アと間違えた生徒が正答を選んだ人よりも多かった。問7は「美の普遍性」をテーマに自分の意見を200字でまとめる問題であった。筆者の見解を踏まえ、具体的な体験や見聞を含めて書くことが大切である。正答率23.4%は満点10点の割合であり、他に56.9%が中間点を得ている。

④ 古典を引用した文章

田中康二『本居宣長』から出題。本居宣長の和歌について論じたものである。問1の理由説明に関する問いの正答率が低かった。問2は語句の意味、問4は「ない」の用法について、問5と問6は本文中からの抜き出し、問7は和歌の表現方法についての問いであり、日ごろの学習の定着が鍵となる問題であった。

今年度も大きな出題形式の変更はなかったが、新たに出題された会話を踏まえた問いは、全体の理解を問う問題であり、しっかりと対策する必要がある。

大問	小問	正答率
①	(1)	19.0%
	(2)	44.2%
	(3)	70.8%
	(4)	95.6%
	(5)	32.5%
	(6)	60.9%
	(7)	40.9%
	(8)	80.7%
②	問1	99.6%
	問2	93.8%
	問3	96.7%
	問4 X	85.4%
	問4 Y	70.4%
	問5	94.5%
③	問1	89.4%
	問2	76.3%
	問3	81.8%
	問4	39.1%
	問5	75.5%
	問6	41.2%
	問7	23.4%
④	問1	31.0%
	問2(2)	81.8%
	問2(5)	78.5%
	問3	57.7%
	問4	58.0%
	問5	70.1%
	問6	75.9%
問7	60.6%	

(2) 数学

ア 小問正答率

右表の通り

イ 学力検査問題の分析

大問 $\boxed{1}$ の小問集合の正答率は昨年に比べて低くなった。問4の確率の問題は昨年度と同系統の問題である。数え上げの問題として単純な値ではなく、三平方の定理の利用とその本質の理解が必要とされる。問5の中央値、四分位数の問題は2年間連続で出題されていたが、正答率が低くなった。イメージがしづらい値のため、具体的に当てはめて解くことは難しく、条件を計算式で表し、求めた値を吟味する必要がある、そこまでたどり着けなかったためか、誤答と無回答が多く正答率が低くなった。基礎的な計算問題と作図の問題は、予想を下回る正答率で、高校入学後の基礎力の定着が課題である。

大問 $\boxed{2}$ は、昨年同様、二次関数と直線および図形の面積の問題であり、問3の問題は四角形の面積と三角形の面積の比較であるが、各座標の値が与えられていることから具体的に面積を求めて比較する解答が多くみられた。計算量が増える、また時間が多くかかることで、計算間違いやその後の問題に着手できない状況が見られた。「面積が同じ」という条件から等積変形の利用、平行線と直線の傾きの関係等、図形的な性質に目を向け、数式化することが出来ていない傾向が見られる。

大問 $\boxed{3}$ は、昨年より正答率は増加した。問1は弧の長さの比を用いて角度を求める基本的な問題、問2は斜線部分の面積は予想を下回る正答率となった。問3(1)の証明問題は三角形の相似に関する問題については、どの受検生も記述はしているものの、記述不十分の解答が多く見られた。問3(2)については、内容としては基本的な内容の組み合わせで答えを導くことができる問題であったが、具体的な値までたどり着けなかったためか、結果として無回答が多かった。

大問 $\boxed{4}$ は、三角柱に関する基本的な問題であった。求める図形の基本的な考え方が出来ていないようであった。問2は三平方の定理を利用する問題であったが、正答率が低い。そもそも取り組んでいる生徒が少ないように感じる。問3は線分の長さが最も短くなるような点の位置に関する問題であったが、予想を大幅に下回る正答率となった。難易度としては高い問題ではないので、図形に関する基本的な問題演習が足りていないように感じる。問3、問4とも無回答が多くみられた。昨年同様、特に空間図形を苦手としている生徒が増えていることに不安を感じる。

大問	小問	正答率 (%)
$\boxed{1}$	問1	61.7
	問2	78.8
	問3	82.1
	問4	52.6
	問5	24.5
	問6	54.4
$\boxed{2}$	問1(1)	89.1
	問1(2)	51.8
	問2	23.7
	問3	5.8
$\boxed{3}$	問1	46.7
	問2	12.4
	問3(1)	65.3
	問3(2)	0.7
$\boxed{4}$	問1	77.7
	問2	8.8
	問3	4.4
	問4	0.7

(3) 英語

ア小問正答率

右表の通り。大問1B2、大問4問7は全受検者の平均点を記載。

イ学力検査問題の分析

大問①のリスニングでは、選択問題が全て正答率 80%以上である一方で、記述問題の B 2は平均点が4点満点中 0.7 点だった。スペリング、文法等で減点されないよう、聞こえた内容を英語で書く練習をしてほしい。

大問②は日本とスイスの郵便ポストを通じた交流に関する対話文だった。問1では Sounds good.の具体的な内容は、直後に「友人のためにお土産を探す」とあるが、まだ登場していない郵便ポスト関連の選択肢を選んでいる受検生が多くいた。問3ではスイス人の Emma が our country と言っているにもかかわらず、直後の空欄に Japan を入れている誤答が目立った。問6の内容一致問題は、本文ではユングフラウヨッホは山と山の「間」に位置しているとあるが、「頂上」にあるとの誤答を選んだ受検生が多かった。対話文では話題の流れ、発言者に注意して読んでほしい。

大問③は皇帝ペンギンが水中に長く居られる要因に関する論説文だった。問1の From these two reasons は明らかに文章の結論部分に使われる表現であるが、正答率は 55.8%に留まった。問2は関係代名詞、受動態も大事だが、Thanks to のフレーズを作ることができない選択肢を選んでいる受検生が半数以上いた。問3は体温が「変わらない」ことを示す almost the same の言い換えを選ぶ問題だったが、取り違えて change a lot を含む選択肢を選んだ誤答が多かった。問5の下線部は直前の文を言い換えているので、前文にある decreases が正解だが、これに気付けた受検生は 25.5%だった。内容の難しさに惑わされず、求められている答えの根拠がどこに書かれているのかを検討する練習をしてほしい。

大問④は高校生活で新しいことに挑戦する物語文だった。問2では At first 「最初は」を First 「1つ目に」と勘違いしたであろう誤答が目立った。問4では remind A of B 「AにBを思い出させる」の of の使い方で誤答が多かった。問5は「新しいことに挑戦する」というこの物語の主題が分かっているかを問う問題であったが、new を入れられた受検生は 31.8%に留まった。問6の内容一致問題はそれぞれの選択肢を選んだ割合が分散しており、それぞれの選択肢を詳しく検証する時間が足りなかった受検生が多くいたことが分かる。問7の英作文は「これから挑戦したいこと」、「具体的な理由」、「文法・語法・スペリング」の3項目を採点した。「これから」とあるので既に取り組んでいる内容は減点した。平均点は8点満点中 5.4 点と高く、満点もしくは部分点をもらえた人の平均点は 6.3 点と一段と高かったため、得点できなかった受検生との差が大きく出た。

大問	小問	正答率
①	A1	80.3%
	A2	89.8%
	A3	82.1%
	B1	89.1%
	B2	0.7 点
②	問 1	66.4%
	問 2 a	78.1%
	問 2 b	81.4%
	問 2 c	68.6%
	問 2 d	66.8%
	問 3	66.8%
	問 4	78.8%
	問 5	84.7%
③	問 1	55.8%
	問 2	35.0%
	問 3	52.6%
	問 4	68.6%
	問 5	25.5%
	問 6	54.7%
④	問 1	94.9%
	問 2	36.1%
	問 3	69.3%
	問 4	36.5%
	問 5	31.8%
	問 6	32.8%
	問 7	5.4 点

① B2 はリスニング記述のため 4 点満点中の平均点を掲載

④ 問7は英作文のため、8点満点中の平均点を掲載

英 語 問 題

- 1 英語大問1 はリスニングで
都立共通問題です。

2

次の対話の文章を読んで、あとの各問に答えよ。

(*印のついている単語・語句には、本文のあとに〔注〕がある。)

*Riku and Liam are high school students. Liam is from the U.S. and he is doing a homestay with Riku's family. They are on summer vacation, and Riku's family and Liam are visiting Mt. Fuji. They reached the top and walked down to *the 5th Station.*

Riku: We've finally come back.

Liam: Yeah. It was a long way.

Riku: The sunrise was very beautiful.

Liam: I was so excited to see it.

Riku: Hey, Liam, there's a *rest house over there. Do you want to *take a rest there?

Liam: Yeah. I'm very tired. Let's go.

(They go into the rest house with Riku's parents and take a rest)

Riku: Liam, why don't we get something for our friends?

Liam: Sounds good. ⁽¹⁾ Although we sent postcards from the post office at the top, we should buy something like cookies, candies, or shirts for them, too.

(Riku and Liam walk around the rest house)

Riku: Liam, look. There's another post office over there.

Liam: Wow. Oh, Riku. What's that? It looks like a mailbox, but its color is different from Japan's red mailboxes.

Riku: Yeah. I don't think this yellow box is used in Japan. Oh, it says this is from *Switzerland.

Liam: Switzerland? In Europe? Why? Why is it here?

Riku: Well...

(Emma and Mia from Switzerland are coming near to the yellow mailbox)

Emma: Mia, look there. That's a *Swiss mailbox.

Mia: Yeah. This is the one introduced at the Jungfrauoch.

Emma: It must be. (2-a)

Mia: Me, too. This box is here because of the *partnership between Swiss and Japanese people. This makes me happy.

Liam: Excuse me. I'm Liam, and this is Riku. We are wondering why this (3-a) mailbox is here. Do you know something about it?

Emma: Oh, hi. I'm Emma, and this is Mia. Yes. This mailbox was sent as a present from our country (3-b) to (3-c).

Riku: Oh, really? But why?

Mia: Among the post offices that are open all year, this is Japan's highest post office. And our highest post office is at a place called the Jungfrauoch.

Riku: What? What did you say? The Jung...

Mia: The Jungfrauoch. It's a famous tourist spot and it stands between two famous Swiss mountains, the Jungfrau and the Mönch. The highest train station in Europe is also there. Around the station, we also have a gift shop, restaurants, an *observation deck, and some exhibitions.

Liam: I see, but ⁽⁴⁾ I still don't understand why this mailbox was sent here.

Emma: In fact, these two post offices *signed a mountain post office *alliance in 1993. They promised to *promote cultural *exchange to bring Japanese and Swiss people who love mountains together.

Mia: As a sign of their partnership, a Japan's red mailbox was sent to the post office at the Jungfrauoch, and this Swiss mailbox was sent here in 1993. And in 2013 the 20th *anniversary of the partnership was celebrated in Switzerland.

Riku: In 2013? I believe Mt. Fuji was selected as a World Heritage site that year.

Mia: Yes. And 12 years before, the Jungfrau and its beautiful nearby area also became a World Heritage site.

Liam: Wow. (2-b) But I think it's not used here.

Riku: Yeah, Liam, you're right. The sign says so. But how about the one in Switzerland? Is it used?

Emma: Actually, yes. Last year, Mia and I went to the Jungfrau area and *happened to find it. Some people were putting postcards into the box.

Liam: It's cool to send a postcard from such a special place.

Mia: That's right. Postcards sold there have many kinds of mountain pictures. They are all beautiful.

Riku: Emma, you said you happened to find the box. So ⁽⁵⁾ what was your main reason for going to that area?

Emma: If you want to see the mailbox, you can take a train to the Jungfrauoch. And we also took a train to go there. But we had a plan to visit the Jungfrau area later to enjoy hiking and we went there. Switzerland is famous for its many hiking courses. Can you believe the *total distance is more than 65,000 km?

Liam: That's great. I love hiking, so I hope to go and hike there someday.

Emma: (2-c) It'll be a great experience especially for people who love nature.

Riku: I want to hike there, too. I didn't know there's such a partnership between Switzerland and Japan. Like this mailbox, a lot of things around us may have ties to different countries.

Liam: There should be something that connects Japan and my country the U.S., too.

Mia: The same is true for the U.S. and Switzerland.

Emma: If we think that way, we can feel closer to different countries.

Riku: Great. Thank you so much for sharing your experience. Are you going to hike now?

Mia: Yes. I've been looking forward to it.

Emma: Me, too. Did you see the sunrise from the top?

Liam: Yes. It was beautiful.

Riku: Have a nice trip.

Mia: Thank you. Bye.

[注] the 5th Station 5合目 rest house 休憩所 take a rest 休憩する
Switzerland スイス Swiss スイスの partnership パートナーシップ
observation deck 展望台 sign 調印する alliance 同盟
promote 促進する exchange 交流 anniversary 周年
happen to ~ たまたま~する total distance 合計距離

[問1] ⁽¹⁾ Sounds good. とあるが, Liam のこの発言の内容について, 最も適切なものは次のうちではどれか。

- ア Liam agrees with Riku's idea, and they will try to find presents for their friends.
- イ Liam agrees with Riku's idea, and they will look for a post office in the rest house.
- ウ Liam agrees with Riku's idea, and he will continue to take a rest in the rest house.
- エ Liam agrees with Riku's idea, and he will try to find some souvenirs for himself.

[問2] から の中に, 英文を入れるとき, 最も適切なものを次の中からそれぞれ一つずつ選べ。ただし, 同じものは二度以上使えない。

- ア I hope you'll be able to see it, too.
- イ This mailbox has such a nice story.
- ウ You should come.
- エ I'm glad to find a Swiss thing in Japan.

[問3] 本文の流れに合うように, から の中に単語を入れたとき, その組み合わせとして, 最も適切なものは下のうちではどれか。

	<input type="text" value="(3-a)"/>	<input type="text" value="(3-b)"/>	<input type="text" value="(3-c)"/>
ア	red	Japan	Switzerland
イ	red	Switzerland	Japan
ウ	yellow	Japan	Switzerland
エ	yellow	Switzerland	Japan

〔問4〕 I still don't understand why this mailbox was sent here. とあるが、Liam のこの疑問に対する答えの一部として の中に入れるとき、最も適切なものは下のうちではどれか。

A mailbox of Switzerland and Japan was sent to each other .

- ア to celebrate the 20th anniversary of both countries' partnership
- イ as a sign of the partnership the two countries agreed to in 1993
- ウ because the Jungfrau area became a World Heritage site in 2001
- エ because Mt. Fuji was selected as a World Heritage site in 2013

〔問5〕 what was the main reason for going to that area? とあるが、この問いに対する Emma の発言内容として、最も適切なものは次のうちではどれか。

- ア Emma and Mia went to the Jungfrauoch to look for the red mailbox.
- イ Emma and Mia went to the Jungfrau area to enjoy shopping and food.
- ウ Emma and Mia traveled to the Jungfrau area to enjoy hiking there.
- エ Emma and Mia traveled about 65,000 kilometers by train and on foot.

〔問6〕 本文の内容と合っているものとして、最も適切なものは次のうちではどれか。

- ア There was a red Japanese mailbox in the rest house at the 5th station.
- イ The Jungfrauoch stands at the top of the Jungfrau and the Mönch.
- ウ The Japan's red mailbox at the Jungfrauoch is actually used now.
- エ Riku and Liam are going to start hiking Mt. Fuji to see the sunrise.

3 次の文章を読んで、あとの各問に答えよ。

(*印のついている単語・語句には、本文のあとに〔注〕がある。)

*Emperor Penguins are the largest of all kinds of penguins in the world. They are very good at swimming and they can hold their *breath for about 30 minutes and swim about 500 meters deep in the sea.

Why are they able to be under the water for such a long time? There are two main reasons. First, they have some body parts that *store the *oxygen they need to live. When humans go deep into water, they carry *cylinders for air. Emperor Penguins do not use any cylinders, but they have air bags in their bodies. (1-ア) Scientists say that 30% to 50% of the oxygen in their bodies is stored in these air bags. The oxygen goes into their *blood. (2) 【① by ② that ③ thanks ④ is sent ⑤ the blood ⑥ to】 their hearts, oxygen stored in their air bags can reach different parts of the bodies. (1-イ)

Other parts that can store oxygen are their *skeletal muscles and blood that runs inside their bodies. *Neither the parts inside their bodies nor their muscles use oxygen in their blood while they are deep under water. The amount of oxygen which is carried becomes smaller, and the number of times their hearts beat in a minute goes down. The number of times Emperor Penguins' hearts beat in a minute is usually about 200 beats a minute on the ground, but when they are in water, it decreases to about 20. (1-ウ)

Second, Emperor Penguins are able to save oxygen. While they are under water, their blood almost stops running through their stomachs. And when they are in water, their stomachs get cold.

Both humans and penguins are *homeothermic animals, and (3) they can keep their body temperature almost the same when the air or water temperature around them is very low. The body temperature of penguins is between 38 and 39 °C, but only the parts around their stomachs fall to 18 to 19 °C while they are in water. When their bodies get 20 °C colder, the energy their bodies use is about *one-tenth. 4 When most animals use little energy, they also use little oxygen.

Also, while they are in water, their blood almost stops running through their bodies. Because of that, it is almost impossible for them to *digest food like fish. In fact, a lot of oxygen is used to digest food.

While they are in water, there is very little blood running not only to the parts inside their bodies but also to the skeletal muscles that move their bodies. The blood *vessels that run to the skeletal muscles become smaller. Then, oxygen comes out of a *protein called *myoglobin. It stores oxygen in their muscles. When the amount of oxygen in animals' bodies decreases, the amount of oxygen they use also decreases. (5) Penguins use the oxygen in their muscles first, then they have to use the oxygen stored in their air bags. They can go deep under water because they have the parts inside their bodies and muscles that save oxygen.

When they are in water, the only part that needs a lot of oxygen is their brains. When the amount of *carbon dioxide in their blood increases, they feel *pain. To keep oxygen running to their brains for a long time, penguins use neither the parts inside their bodies nor their muscles.

With this body system, they can swim deep in the sea. It is very interesting for us to learn about animals that have different body systems from humans'.

〔注〕 Emperor Penguin	コウテイペンギン	breath	息
store	蓄える	oxygen	酸素
blood	血液	cylinder	ボンベ
neither ~ nor ...	~も...もない	skeletal muscle	骨格筋
one-tenth	10分の1	homeothermic	恒温性の
protein	タンパク質	digest	消化する
carbon dioxide	二酸化炭素	vessel	管
		myoglobin	ミオグロビン (タンパク質の一種)
		pain	苦しさ

〔問1〕 次の英文が入る最も適切な箇所は、下のうちではどれか。

From these two reasons, Emperor Penguins are able to be under the water for a long time.

- ア
- イ
- ウ
- エ

〔問2〕 【 ① by ② that ③ thanks ④ is sent ⑤ the blood ⑥ to 】 について、本文の(2)流れに合うように、【 】内の単語・語句を正しく並べかえるとき、【 】内で2番目と5番目にくる単語・語句の組み合わせとして正しいものは、次のうちではどれか。なお文頭に来る文字も小文字で書かれている。

- ア 2番目 ④ is sent 5番目 ③ thanks
- イ 2番目 ④ is sent 5番目 ⑤ the blood
- ウ 2番目 ⑥ to 5番目 ④ is sent
- エ 2番目 ⑥ to 5番目 ⑤ the blood

〔問3〕 (3) they can keep their body temperature almost the same when the air or water temperature around them is very low. を、次のように書き表すとすれば、 の中に入れるものとして、最も適切なものは下のうちではどれか。

when the air or water temperature around them is very low.

- ア Both humans' and penguins' body temperatures do not change a lot
- イ Humans' body temperature gets higher than penguins
- ウ Humans' body size is almost the same as that of penguins
- エ Both humans' and penguins' body temperatures change a lot

〔問4〕 本文の流れに合うように、 4 の中に入るものとして、最も適切なものは次のうちではどれか。

- ア Because of that, the amount of oxygen they use becomes larger.
- イ As a result, the amount of oxygen they use also becomes smaller.
- ウ Then, they use more oxygen than usual.
- エ And the size of their bodies becomes one-tenth, too.

〔問5〕 (5) Penguins use the oxygen in their muscles first, then they have to use the oxygen stored in their air bags. の結果として予想されることを、次のように書き表すとすれば、下の の中に、どのような英語を入れるのがよいか。最も適切な1語を本文中からそのまま抜き出せ。

The amount of oxygen they use .

〔問6〕 本文の内容と合っているものとして、最も適切なものは次のうちではどれか。

- ア More than 50% of the oxygen in Emperor Penguins' bodies is stored in their air bags.
- イ Emperor Penguins' blood never stops running while they are under the water.
- ウ Emperor Penguins' brains do not use oxygen when they are in the water.
- エ Emperor Penguins feel pain when the amount of carbon dioxide in their blood increases.

このページに問題はありません。

4

次の物語の文章を読んで、あとの各問に答えよ。

(*印のついている単語・語句には、本文のあとに〔注〕がある。)

Sara was sixteen years old and a little shy. She had her *entrance ceremony just two days ago. She was happy because she really wanted to enter that high school. During the ceremony, she was thinking about starting something new in her school life. She wanted to be proud of herself by challenging herself, but she didn't know what to try. On the second day of school, Sara stood in front of the school gate with her school uniform and carried her bag with her textbooks, notebooks and pens. The weather was clear without any clouds in the sky. Sara *took a deep breath. When she looked around, she saw that many students were talking and laughing while they walked into the school building. She thought everyone already had friends. ⁽¹⁾ She felt nervous and a little scared. "I hope I can make friends," she said to herself.

^(2-a), all of her friends from junior high went to different high schools. She walked to her classroom and sat in her seat. A girl next to Sara smiled at her. "Hi, I'm Hinako, nice to meet you!" the girl said. Sara smiled back and said, "I'm Sara. Nice to meet you, too." They talked a little about their junior high school experiences before class started. Hinako was friendly and looked very nice. ⁽³⁾ Sara felt a little better because of that. After school, many students were walking around the hallways and looking at posters for club activities to join. There were a lot of clubs such as the music club, the art club, the soccer club, and more. Sara saw a group of students. They were talking in loud voices and laughing near the gym. "They look so happy," she thought. "What club is that?" She walked toward the group and saw a big poster that said, "Basketball Club - Join Us!" ⁽⁴⁾ 【ア watching イ a basketball game ウ her エ it オ reminded カ of】 on TV with her brother last year. The players were fast and strong, and watching the game was so exciting for her. But Sara did not have any experience playing basketball, so trying it was a ^(5-a) experience for her.

A tall girl saw Sara in front of the poster. "Hey! Are you interested in basketball?" she asked with a big smile. "Well... maybe," Sara said. "I'm Mira. I'm the captain of this club. Come to the gym and try it! No experience? No problem!" Sara was not sure and said, "I'm not good at sports..." "That's not a problem," Mira said *kindly. "Many people start as beginners. Just come and join us anytime." "OK, I'll try," Sara said *nervously. She was very worried because she had no experience playing it. ^(2-b), she still wanted to try something new in high school, so she decided to try basketball.

The next day after school, Sara took a deep breath nervously and walked into the gym. Many girls were passing the ball, shooting, and running on the court. They laughed and cheered for each other. While Sara was standing at the side and watching their play, Mira ran over with a big smile and said, "Sara! You came!" Sara smiled and said, "Yes, I did." Mira gave her a ball and said, "Let's play together." ^(2-c), Sara felt a little nervous. She could not

catch the ball, and her balls didn't go into the *hoop. But the other girls cheered for her and smiled at her. "Nice try!" "Good effort!" Sara started to enjoy playing basketball more and more. She liked exercising her body. She liked the sound of the *bouncing the ball. Most of all, she liked being with the teammates. Sara was so *focused on the practice that she didn't *look carefully around her. After the practice, everyone sat on the floor and drank water. A girl came to Sara and said, "Hi, you did great today." Sara looked up and saw someone she knew! Sara was surprised and said, "Hinako?" "Yes! I was playing with another team. I realized you were playing on a different team! But you didn't notice me!" Hinako said with a *playful smile. Sara laughed and said, "I was so focused on my play that I couldn't look around. Today is a big day for me." Their faces were red from running, and they both laughed together.

On her way home, Sara looked up at the sky. The clouds in her mind were all gone now. Because of her new challenge, she felt good, strong, and *confident. "I think I've found my place. Now, I have a *brave heart, and I am really proud of myself," she said to herself. From that day, Sara went to basketball practice every week. She practiced hard and made mistakes, but she never gave up. The team helped her to play better, and she helped them, too. She started to laugh more, talk more, and feel more confident. At school, she said "Good morning" with a smile on her own. She walked with her teammates. She wasn't alone anymore. Sara learned an important thing.

Trying something (5-b) is scary, but it can bring good results. It can bring you friends, fun, and *confidence.

〔注〕	entrance ceremony	入学式	take a deep breath	深呼吸する
	kindly	優しく	nervously	不安げに
	hoop	バスケットボールのゴールリング	bounce	跳ねる
	focused on ~	~に集中して		
	look carefully around	注意深く周りを見る	playful	いたずらっぽい
	confident	自信がある	brave	勇敢な
	confidence	自信		

〔問1〕 She felt nervous and a little scared. とあるが、その時の Sara の気持ちに最も近いものは次のうちではどれか。

- ア She was nervous because it was bad weather that day.
- イ She was worried that she would not be able to make any friends.
- ウ She felt worried because a girl next to her suddenly spoke to her.
- エ She was sad because she couldn't play basketball well.

〔問2〕 (2-a) から (2-c) の中には、それぞれ次の A～C のうちいずれかの単語・語句が入る。その組み合わせとして、最も適切なものは下のうちではどれか。

- A At first
- B In fact
- C However

	(2-a)	(2-b)	(2-c)
ア	A	B	C
イ	A	C	B
ウ	B	A	C
エ	B	C	A
オ	C	A	B
カ	C	B	A

〔問3〕 Sara felt a little better because of that. を、次のように書き表すとすれば、 の中に入れるものとして、最も適切なものは下のうちではどれか。

After , Sara felt a little better.

- ア attending her entrance ceremony
- イ deciding what club to join
- ウ chatting with one of her classmates
- エ finding a friend from the same junior high school

〔問4〕 【ア watching イ a basketball game ウ her エ it オ reminded カ of】について、⁽⁴⁾ 本文の流れに合うように、【】内の単語・語句を正しく並びかえるとき、【】内で2番目と5番目にくる単語・語句として正しいものはどれか。【】内のア～カの中からそれぞれ一つ選べ。なお文頭に來る文字も小文字で書かれている。

〔問5〕 本文の流れに合うように、〔5-a〕と〔5-b〕に入る共通の英語1語を本文中からそのまま抜き出せ。

〔問6〕 本文の内容と合っているものとして、最も適切なものは次のうちではどれか。

- ア Mira told Sara to have confidence when they met first in the hallway.
- イ Sara and Hinako already knew each other before practicing basketball together.
- ウ Sara learned that the importance of challenging herself was always easy at first.
- エ Playing basketball did not help Sara to make friends or have fun at all.

〔問7〕 あなたがこれから挑戦したいこと一つと、その理由を具体的に20語以上30語以内の英文で書け。二つ以上の英文になっても構わない。ただし、明らかに未完成の文は、語数には含めないものとする。下の〔例〕のように、「,」「.」などの符号は語数に含めない。短縮形は1語と数える。

〔例〕 I'm a student. My mother said to
 me, "Are you busy?" I said, "Yes!"

正 答 表 英 語

1	〔問題A〕	<対話文1>		<対話文2>		<対話文3>		4	4	4			
	〔問題B〕	<Question 1>						4					
		<Question 2>	※ 1 については、共通問題の正答表に同じ								4		
2	〔問1〕	ア									4		
	〔問2〕	(2-a)	エ	(2-b)	イ	(2-c)	ウ	(2-d)	ア	1	1	1	1
	〔問3〕	エ									4		
	〔問4〕	イ									4		
	〔問5〕	ウ									4		
	〔問6〕	ウ									4		
3	〔問1〕	エ									4		
	〔問2〕	ウ									4		
	〔問3〕	ア									4		
	〔問4〕	イ									4		
	〔問5〕	decreases									4		
	〔問6〕	エ									4		
4	〔問1〕	イ									4		
	〔問2〕	エ									4		
	〔問3〕	ウ									4		
	〔問4〕	2番目	オ	5番目	ア						4		
	〔問5〕	new									4		
	〔問6〕	イ									4		
	〔問7〕	(正答例) I want to try playing the guitar because I like listening to music. Trying new things is fun and I can make friends through it. (25 words)									8		

数 学 问 題

1 次の各問に答えよ。

〔問 1〕 $x = 3, y = -\frac{3}{2}$ のとき, $x^2 - xy - 6y^2$ の値を求めよ。

〔問 2〕 連立方程式
$$\begin{cases} x + 2.5y = \frac{1}{4} \\ 3x + 5y = -0.5 \end{cases}$$
 を解け。

〔問 3〕 二次方程式 $2(x+3)^2 = 32$ を解け。

〔問 4〕 1 から 6 までの目が出る大小 1 つずつのさいころを同時に投げる。大きいさいころの出た目の数を a , 小さいさいころの出た目の数を b として, $\angle ABC = 90^\circ$ である $\triangle ABC$ において, $AB = a$ cm, $BC = b$ cm と定める。辺 AC の長さが 4 cm より小さくなる確率を求めよ。
ただし, 大小 2 つのさいころはともに, 1 から 6 までのどの目が出ることも同様に確からしいものとする。

〔問 5〕 a は 4 より大きい自然数とする。

10 個のデータ

3, 3, 1, 7, 4, 2, 6, 5, 4, a

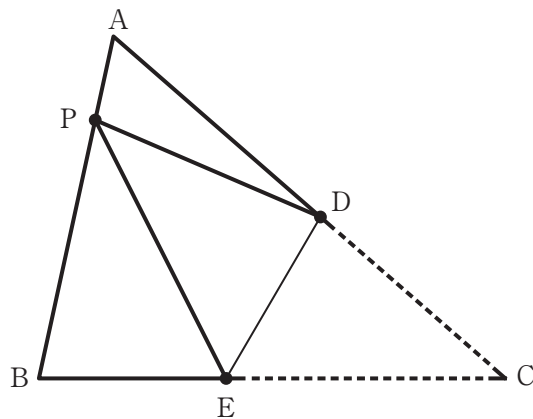
がある。この 10 個のデータについて, 平均値と第 3 四分位数が一致するとき, a の値を求めよ。

〔問 6〕 右の図で, $\triangle ABC$ は鋭角三角形である。

点 P は辺 AB 上にある点で, $AP : PB = 1 : 3$ となる点である。辺 AC 上にある点を D , 辺 BC 上にある点を E とし, 点 D と点 E を結ぶ線分を折り目として $\triangle ABC$ を折り返したとき, 頂点 C と点 P が一致する場合を表している。

解答欄に示した図をもとにして, 点 P , 点 D , 点 E を, それぞれ定規とコンパスを用いて作図によって求め, 点 P , 点 D , 点 E の位置を示す文字 P, D, E も書け。

ただし, 作図に用いた線は消さないでおくこと。



2 右の図1で、点Oは原点、曲線 m は関数 $y = ax^2$ のグラフを表している。

点A、点Pはともに曲線 m 上にあり、 x 座標はそれぞれ $-1, s (s > 1)$ である。

原点から点(1, 0)までの距離、および原点から点(0, 1)までの距離をそれぞれ1 cm として、次の各問に答えよ。

[問1] $a = \frac{1}{3}$ とし、関数 $y = ax^2$ の x の変域が $-3 \leq x \leq 1$ のとき、 y の変域を不等号を使って、
 $\leq y \leq$ で表せ。

[問2] 図1において、点Oと点A、点Oと点P、点Aと点Pをそれぞれ結んだ場合を考える。
 $s = 4$ 、点Aの y 座標が $\frac{1}{4}$ のとき、 $\triangle OPA$ の面積は何 cm^2 か。

[問3] 右の図2は、図1において、点Aと点Pを結び、線分APをAの方向に延ばした直線と x 軸との交点をBとした場合を表している。
 $a = \frac{1}{2}$ 、 $\angle OBP = 45^\circ$ のとき、 s の値を求めよ。

[問4] 右の図3は、図1において、点Oと点A、点Oと点P、点Aと点Pをそれぞれ結び、線分APの中点をM、点Mを通り傾きが $-\frac{5}{4}$ である直線を引き、 x 軸との交点をC、 x 軸上にあり、 x 座標が t である点をQとし、点Oと点M、点Cと点P、点Mと点Qをそれぞれ結んだ場合を表している。

$a = 1, s = 3$ のとき、 $\triangle OMA$ と $\triangle OCP$ の面積の和が $\triangle OQM$ の面積と等しくなるとき、 t の値を求めよ。

ただし、 $t > 0$ とし、答えだけでなく、答えを求める過程が分かるように、途中の式や計算なども書け。

図1

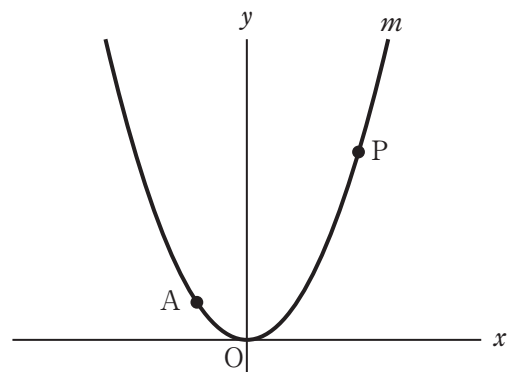


図2

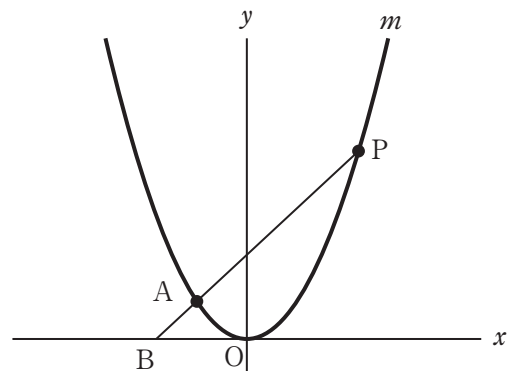
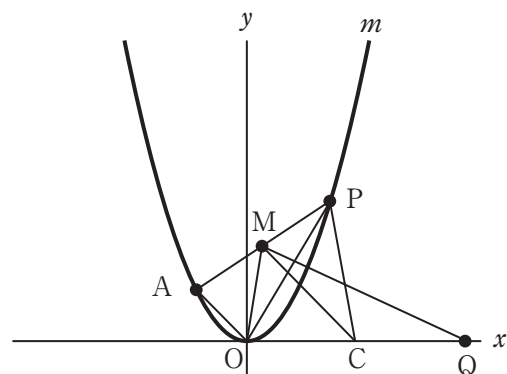


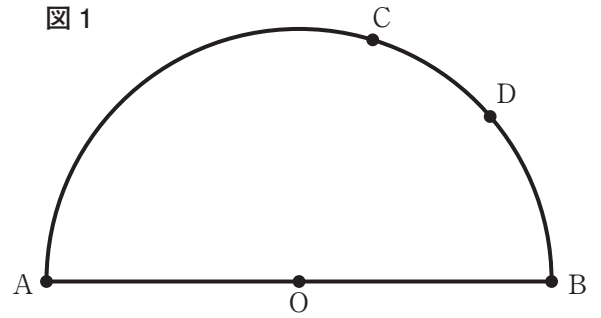
図3



3 右の図1で、点Oは、線分ABを直径とする半円の中心である。

点Cは \widehat{AB} 上にあり、2点A, Bのいずれにも一致しない点、点Dは \widehat{BC} 上にあり、2点B, Cのいずれにも一致しない点である。


次の各問に答えよ。



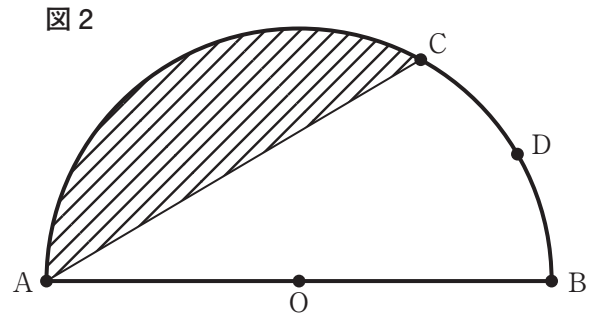
〔問1〕 図1において、点Oと点C、点Aと点D、点Cと点Dをそれぞれ結んだ場合を考える。

$\angle OCD = 70^\circ$, $\angle ADC = 54^\circ$ のとき、 $\angle OAD$ の大きさは何度か。

〔問2〕 右の図2は、図1において、 $\widehat{BD} = \widehat{CD}$ のとき、点Aと点Cを結んだ場合を表している。

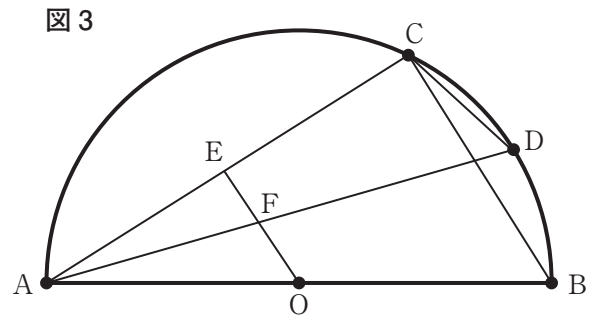
$AB = 4 \text{ cm}$, $\widehat{AC} : \widehat{CD} = 4 : 1$ のとき、で示した図形の面積は何 cm^2 か。

ただし、円周率は π とする。



〔問3〕 右の図3は、図2において、点Aと点D、点Bと点C、点Cと点Dをそれぞれ結び、点Oを通り線分BCに平行な直線を引き、線分ACとの交点をE、線分ADと線分OEとの交点をFとした場合を表している。

次の(1), (2)に答えよ。



- (1) $\triangle OFA \sim \triangle DCA$ であることを証明せよ。
- (2) $AC = 4 \text{ cm}$, $BC = 3 \text{ cm}$, $OF : FE = 5 : 4$ のとき、線分ADの長さは何 cm か。

4

右の図1に示した立体 $ABC-DEF$ は、 $AB = AC$, $BC = 2$ cm,
 $BE = 5$ cm, $\angle BAD = \angle CAD = 90^\circ$ の三角柱である。

点 G は辺 BC の中点である。

次の各問に答えよ。

〔問1〕 図1において、頂点 A と点 G を結んだ場合を考える。

$AG = a$ cm のとき、三角柱 $ABC-DEF$ の体積は何 cm^3 か。

a を用いて表せ。

〔問2〕 右の図2は、図1において、頂点 F から辺 AB に引いた
 垂線と辺 AB との交点を H とした場合を表している。

$AB = 4$ cm のとき、線分 FH の長さは何 cm か。

〔問3〕 右の図3は、図1において、 $AB = 3$ cm のとき、

辺 AC 上にあり、頂点 A と頂点 C に一致しない点 P ,
 点 P を通り辺 AD に平行な直線と辺 DF との交点を Q とし、
 頂点 A と頂点 F を結び、線分 AF と線分 PQ との交点を R
 とした場合を表している。

頂点 B と点 P を結んだ場合を考える。

線分 BP の長さが最も短くなるとき、線分 PR の長さと
 線分 QR の長さの比 $PR : QR$ を、最も簡単な整数の比で表せ。

図1

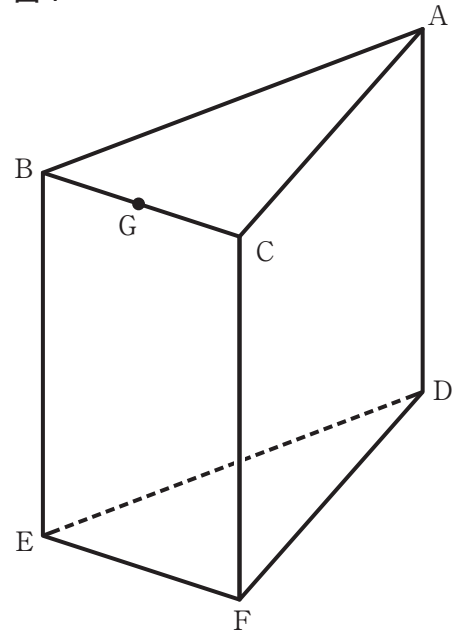


図2

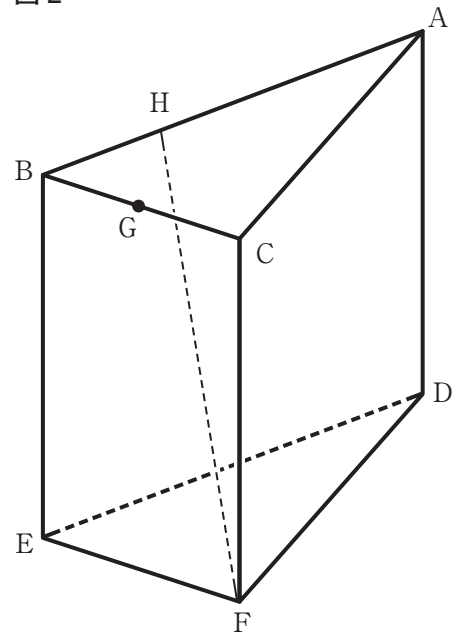
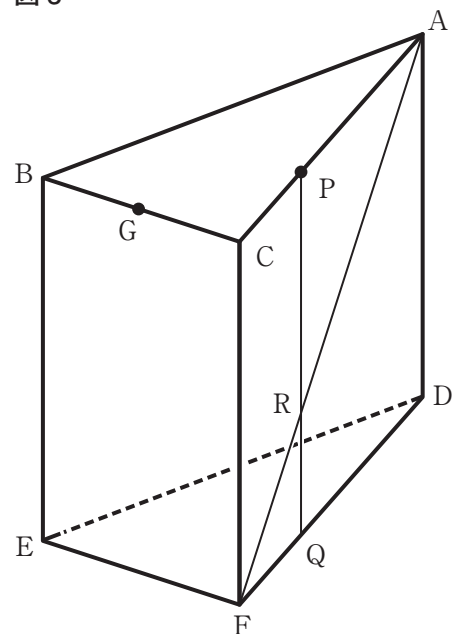


図3

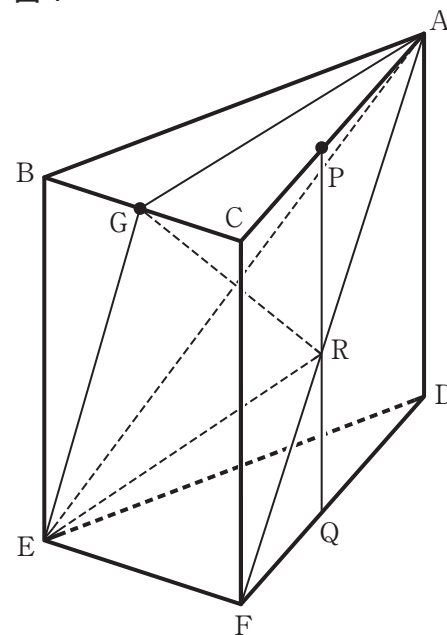


〔問 4〕 右の図 4 は、図 3 において、点 P が辺 AC の中点のとき、
 頂点 A と頂点 E、頂点 A と点 G、頂点 E と点 G、
 頂点 E と点 R、点 G と点 R をそれぞれ結んだ場合を表して
 いる。

立体 G-AER の体積は何 cm^3 か。

ただし、答えだけでなく、答えを求める過程が
 分かるように、途中の式や計算なども書け。

図 4



* 受検番号欄は裏面にもあります。

解答用紙 数学

(8-墨)

マーク・解答上の注意事項

- 1 受検番号欄は、HB又はBの鉛筆（シャープペンシルも可）を使って、○の中を正確に塗りつぶすこと。
- 2 記入した内容を直すときは、きれいに消して、消しくずを残さないこと。
- 3 決められた欄以外にマークしたり、記入したりしないこと。

良い例	悪い例		
	線	小さい	はみ出し
	丸囲み	レ点	うすい

受 検 番 号						
①	①	①	①	①	①	①
①	①	①	①	①	①	①
②	②	②	②	②	②	②
③	③	③	③	③	③	③
④	④	④	④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨

※ の欄には記入しないこと。

1	
〔問1〕	問1
〔問2〕	問2
$x =$, $y =$	
〔問3〕	問3
〔問4〕	問4
〔問5〕	問5
〔問6〕	問6

2	
〔問1〕	問1
	$\leq y \leq$
〔問2〕	問2
	cm^2
〔問3〕	問3
〔問4〕	問4
	【 途中の式や計算など 】
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;">(答え)</div>	

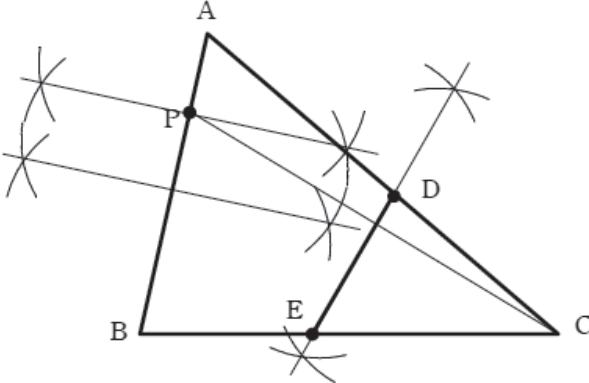
受 検 番 号					

3		
[問1]	度	問1
[問2]	cm ²	問2
[問3] (1)	【 証 明 】	問3(1)
[問3] (2)	cm	問3(2)

4		
[問1]	cm ³	問1
[問2]	cm	問2
[問3]	PR : QR = :	問3
[問4]	【 途中の式や計算など 】	問4
(答え)	cm ³	

数 学

正 答 表

1		2	
〔問 1〕	0	問1	5
〔問 2〕	$x = -1, y = \frac{1}{2}$	問2	5
〔問 3〕	$-7, 1$	問3	5
〔問 4〕	$\frac{2}{9}$	問4	5
〔問 5〕	25	問5	5
〔問 6〕		問6	7
		問1	5
〔問 1〕	$0 \leq y \leq 3$	問2	5
〔問 2〕	$\frac{5}{2} \text{ cm}^2$	問3	5
〔問 3〕	3	問4	8
〔問 4〕	【途中の式や計算など】		8
<p>点 M は線分 AP の中点であるから、 $\triangle OAM = \triangle OMP$ である。</p> <p>よって、$\triangle OAM$ と $\triangle OCP$ の面積の和は、 四角形 OCPM の面積と等しい。</p> <p>さらに、$\triangle CPM = \triangle CQM$ となるように 点 Q をとると、四角形 OCPM の面積と $\triangle OQM$ の面積は等しくなる。</p> <p>よって、点 Q は、 点 P を通り、傾きが $-\frac{5}{4}$ である直線 CM に 平行な直線と x 軸との交点である。</p> <p>傾き $-\frac{5}{4}$ と点 P の座標 $(3, 9)$ から、 直線 PQ の式は $y = -\frac{5}{4}x + \frac{51}{4}$</p> <p>点 Q の座標は $(t, 0)$ だから、$t = \frac{51}{5}$</p>			
(答え)		$\frac{51}{5}$	

数 学

正 答 表

3		4		
〔問 1〕		16	度	問1 5
〔問 2〕		$\frac{4\pi - 3\sqrt{3}}{3}$	cm ²	問2 5
〔問 3〕	(1)	【 証 明 】		問3(1) 7
<p>△OFAと△DCAにおいて、 仮定より、 等しい弧に対する円周角の大きさは 等しいから、 $\angle OAF = \angle DAC \quad \dots \quad \textcircled{1}$ OE//BCより、 平行線の同位角は等しいから、 $\angle AOF = \angle ABC \quad \dots \quad \textcircled{2}$ \widehat{AC}に対する円周角であるから、 $\angle ABC = \angle ADC \quad \dots \quad \textcircled{3}$ ②, ③より、 $\angle AOF = \angle ADC \quad \dots \quad \textcircled{4}$ ①, ④より、 2組の角がそれぞれ等しいから、 $\triangle OFA \sim \triangle DCA$</p>				
〔問 3〕	(2)	$\frac{3\sqrt{10}}{2}$	cm	問3(2) 5
〔問 1〕		5a	cm ³	問1 5
〔問 2〕		$\frac{\sqrt{115}}{2}$	cm	問2 5
〔問 3〕		PR:QR = 7 : 2		問3 5
〔問 4〕		【途中の式や計算など】		問4 8
<p>点Gを通り、辺CFに平行な直線と辺EFとの交点を Hとしたとき、BE=GH=5 cmである。 また、 △ABGにおいて、 三平方の定理より、AG=2√2 cm $\triangle GEF = \frac{1}{2} \times EF \times GH = \frac{1}{2} \times 2 \times 5 = 5 \text{ cm}^2$ 立体G-AEFの体積は、 $\triangle GEF \times AG \times \frac{1}{3} = \frac{10\sqrt{2}}{3} \text{ cm}^3$ 点Pは辺ACの中点であり、CF//PQだから、 中点連結定理よりAR:RF=1:1であり、 立体G-AEFの体積は、 立体G-AERの体積と立体G-EFRの 体積の和と同じであり、 立体G-AERの体積と立体G-EFRの 体積の比は、 G-AER:G-EFR =△AER:△EFR =AR:RF =1:1 求める立体G-AERの体積は、 $\frac{10\sqrt{2}}{3} \times \frac{1}{2} = \frac{5\sqrt{2}}{3} \text{ cm}^3$</p>				
		(答え)	$\frac{5\sqrt{2}}{3}$	cm ³

国 語 問 題

右開きのため、最終ページより
始めてください。

1	きよそ	こてきたい	わこうど	なご	んだ
	(1) 拳 措	(2) 敷 笛 隊	(3) 若 人	(4) 和 ん だ	
	退 庁	博 覧 会	活 路	沿	つて
	(5) タ イ チ ョ ウ	(6) ハ ク ラ ン カ イ	(7) カ ッ ロ	(8) ソ っ て	

2×8

※ 1 について、(3) は「わかびと」にも点を与える。

2	〔問 1〕	イ	〔問 2〕	工	〔問 3〕	ア
	〔問 4〕	X	ウ	Y	思 惑	〔問 5〕

4×6

3	〔問 1〕	イ	〔問 2〕	工	〔問 3〕	ア
	〔問 4〕	ウ	〔問 5〕	イ	〔問 6〕	ア
	〔問 7〕					
	筆者は「大抵の場合、美しいものには普通					
	性がある」と述べていますが、そうではな					
	い場合もあると思います。なぜなら人によ					
	つて美しいと感じるものは違うからです。あ					
	る時私は友達に「夕日が美しいね」と言					
	いました。私に「友達は「夜景の方が好き					
	だ」と言いました。私に「つての美					
しさが、別の人にはそう						
感じられないことがあ						
るのだと感じました。						
美しさは決まった形						
ではなく、人の心の動						
きや経験の中に生ま						
れるものだと考え						
ます。						

4×6

10

4	〔問 1〕	工	〔問 2〕	(2)	工	(5)	ウ	〔問 3〕	ウ
	〔問 4〕	イ	〔問 5〕	雪					
	〔問 6〕	早 く		〔問 7〕	ア				

問2・4 2×3
それ以外 4×5

〔問4〕⁽⁴⁾ ない と同じ意味・用法で使われているものを、次の各文の

——を付けた「ない」のうちから選べ。

ア まだ一度も海外旅行をしたことがない。

イ この車は故障して動かない。

ウ 雨が降っているわけではない。

エ おぼつかない記憶をたどる。

〔問5〕⁽⁶⁾ 同じ題 とあるが、三箇所のは共通したことが入

る。そのことを和歌の中から一語で抜き出せ。

〔問6〕⁽⁷⁾ とく とあるが、その現代語にあたる部分を本文中から抜き出せ。

〔問7〕⁽⁸⁾ 雪を雲に見立てる とは、実際には存在しない雲を雪の美し

さと見なすという和歌の表現技法であるが、「雪を雲に見立て」

た歌として最も適切なものは、次のうちではどれか。

ア うき雲のかつはれ行くと思ひしは降りつむ雪の光なりけり

(中島広足『檀園歌集』)

イ 昔^{すが}の根の長き春日になりぬれど空^{なほ}猶^{なほ}さえて雪はふりつ、

(安藤野雁『野雁集』)

ウ 雲雪^{まが}に紛^{まが}ひもやらぬくれなるの薄花ざくら何にたとへむ

(井上文雄『調鶴集』)

エ いちじろく句へるものを桜ばな雲か雪かと何まがふべき

(大田垣蓮月『海人の刈藻』)

〔問2〕⁽²⁾ 甚だ⁽⁵⁾ 絵に描いた餅 とあるが、本文中で述べられている「甚

だ」「絵に描いた餅」の意味に最も近いのは、次のうちではどれか。
それぞれ選べ。

⁽²⁾
甚だ

ア 決して

イ 総じて

ウ いつでも

エ 非常に

⁽⁵⁾
絵に描いた餅

ア あまり魅力的でない

イ とても素晴らしい

ウ 何の役にも立たない

エ 計画が破綻している

〔問3〕⁽³⁾ 古風歌を詠むことと後世風歌を詠むことは両立するのか。と

あるが、この問いに対して、筆者はどのように答えているか。その説明として最も適切なものは、次のうちではどれか。

ア 和歌に関する豊富な知識を持った宣長は、異なった時代の共通基盤を備えていたために研究については両立できたが、実作の両立は難問と言わなければならなかった。

イ 日本語についての豊かな語彙や語法を身につけていた宣長は、幅広い時代の作品を研究対象とし、特に万葉集に関する研究を継続させていたために、両立が可能であった。

ウ 歌を詠むことへの揺らぐことのない信念を持っていた宣長は、和歌に関する知識が豊富であり、詠み分けを実現させる強靱な意志を備えていたために、両立が可能であった。

エ 初学者に主義や方法を習得させるだけの理論を持ち合わせている宣長は、古風歌と後世歌を整然と詠み分ける能力があり、両立が可能であった。

風後世風詠み分け主義は、和歌に関する豊かな語彙や語法に加えて、詠み分けを実現しようとする強靱な意志があつてはじめて可能となる。宣長にそれができたのは詠歌に対する不動の信念があつたからであるう。

(田中康二『本居宣長』(一部改変)による)

〔注〕 宣長——本居宣長。江戸時代の国学者、歌人。

後世歌——万葉集より後の時代の歌。

古学者——古代日本の古典を文献によって研究する学者。

遵奉——尊重して従うこと。

『草庵集玉箒』(明和五年刊)、『新古今集美濃の家づと』(寛政七年刊)、『古今集遠鏡』(寛政九年刊)

——いずれも本居宣長の著した和歌の研究書。

『鈴屋集』——本居宣長の歌集。

降るままに木毎の花も埋もれて今日は雲かとみねの白雪

——雪が降るにつれてあの木この木と木ごとに咲いている

梅の花もすっかり雪に覆われてしまつて、今日は峰にか

かる白雪が雲に見えることよ。

擬える——例える。

〔問1〕⁽¹⁾ 万葉集を詠歌の規範とする歌人は、後世風歌を詠むことに對して抵抗があつた。とあるが、このことに對して宣長はどのような理由を説明しているか。その説明として最も適切なのは、次のうちではどれか。

ア 万葉集を詠歌の規範とする歌人は、自らの感性に基づいて古代への信仰を説き、後世の利点には思慮をめぐらすことがないから。

イ 万葉集を詠歌の規範とする歌人は、通り一遍の理屈を押しつけて古代の良さを推奨し、時代の変化については軽視しているから。

ウ 万葉集を詠歌の規範とする歌人は、理想的な古代像を説明し、時代が下っていくにつれて環境が劣悪になると信じているから。

エ 万葉集を詠歌の規範とする歌人は、古代こそ理想的な時代であり、それから徐々に物事が墮落していったと決めつけているから。

これを分ちて、たがひに混雑なきやうにと、深く心がくる也。さて又初学うしよまなびの輩ともがら、わがをしへにしたがひて、古風後世風ともによまんとせんに、まづいづれを先さきにすべきぞといふに、万よろの事、本もとをまづよくして後に、末に及ぶべきは、勿論もちろんのことなれども、又末よりさかのぼりて、本にいたるがよき事もある物にて、よく思ふに、歌も、まづ後世風より入いりて、そを大抵得て後に、古風にかゝりてよき子細もあり。

——こうして、みづから古風と後世風とを並べ詠むうちに、この古いにしえと後とをきつぱりと区別して、互いに混雑し(4)ないやうにと深く心がけている。さてまた、初学の人々がわが教えに従つて、古風と後世風と双方を詠もうとするとき、まづどちらを先にすべきかといへば、何事もまず本もとを固めておいてから末に及ぶのが当然であるが、また末からさかのぼつて本に至るのがよいこともあるので、考えてみると、歌もまず後世風から入つて、それをたいてい会得えとくした後に古風に取りかかつてよいこともある。

宣長自身は古風歌と後世風歌を整然と詠み分けるといふのである。また、初学者に対しては、まず後世風歌の詠み方を習得した上で古風歌に移るといふ段取りを提示する。むろん、主義も方法も理論的には可能であるかもしれない。だが、実際のところ、このように器用に詠み分けることができるのか。それができなければ、たとえ理想を語つても、絵(5)に描いた餅である。

宣長は古風と後世風を詠み分けた。たとえば、出版された家集『鈴屋すずすのや』

集』に入集された歌の中から、同じ題を詠み分けているものを抽出してみよう。なお、後世風は「近調」とも称している。

□ (古風)

玉くしげ明けむあしたは(7)とく見てむ今宵の雪は五百重降りしけ

(鈴屋集・巻四)

□ (近調)

* 降るままに木毎の花も埋もれて今日は雲かとみねの白雪

(鈴屋集・巻二)

一首目の古風歌として詠まれた歌は、箱を開けるように明けてゆく朝を早く見てみたい、今宵の雪は幾重にも降り積もってくれ、というものである。この歌は「恋ひつつも今日はあらめど玉くしげ明けなむ明日をいかに暮らさむ」(万葉集・巻十二)と「池の辺の松の末葉に降る雪は五百重降りしけ明日さへも見む」(万葉集・巻八)の二首を組み合わせ模したものである。詞章だけでなく言葉の運びにおいても、万葉集に似せていると言つてよからう。

一方、二首目については、「雪降れば木毎に花ぞ咲きにけるいづれを梅と分きて折らまし」(古今集・冬・紀友則)を踏まえて白梅が雪に紛れる近景を描きつつ、遠景では嶺の白雪を雲なぞらに擬えるものである。

(8) 雪を雲に見立てるのは古今集以来の表現であり、近調(後世風)を自称するのも理解できる。このように、「□」という一字題ではあるが、それをうまく古風と近調に詠み分けていると言つてよい。このような古

次の文章を読んで、あとの各問に答えよ。（*印の付いている言葉には、本文のあとに〔注〕がある。）

宣長の研究対象は万葉集だけではなかった。後世歌もまた研究の対象であった。研究対象であるということは、必然的に詠む歌の規範でもあるということである。だが、⁽¹⁾万葉集を詠歌の規範とする歌人は、後世風歌を詠むことに対して抵抗があった。そのことを宣長は「後世風をもすてずして」の自注の中で、次のように述べている。

今の世、万葉風をよむ輩は、後世の歌をば、ひたすらあしきやうに、いひ破れども、そは実によきあしきを、よくこゝろみ、深く味ひしりて、然いふにはあらず。たゞ一わたりの理にまかせて、万の事、古はよし、後世はわるしと、定めおきて、おしこめてそらづもりにいふのみ也。（中略）大かた此古風と後世と、よしあしの論は、いとゞ大事にて、さらたやすくはさだめがたき、子細どもあることなるを、古学のともがら、深きわきまへもなく、かろくしくたやすげに、これをさだめいふは、甚みだりなること也。

——今の世で万葉風の歌を詠む者たちは、後世の歌を専ら悪いもののように責めののしるけれども、実はその良いか悪いかを十分に確かめ、深く味わい知った上でそのように言うのではない。ただ通り一遍の理屈を押しつけて、何事も古代は良い、後世は悪いと決め込んで、頭ごなしのあて推量に言うだけのことである。（中略）およそこの古風と後世風と、いずれが良いか悪いかという論はなかな

か大切なことであって、そうやすやすとは定めにくいわけがあることなのに、^{*}古学者は深く思慮をめぐらすこともなく、軽々しくこともなげに、このことを決めつけてしまうのは、⁽²⁾甚だ心得違いのことである。

万葉集を遵奉する国学者が後世風歌を忌み嫌うのは、その内実をわかつた上でのことではなく、時代が下るほど物事は劣悪になるといった一般的な法則を単純にあてはめているだけの愚行であると断罪するのである。このような考えに基づいて、宣長は後世風歌を詠み、後世歌を研究した。後世歌の研究の成果として、『草庵集玉筥』（明和五年刊）、『新古今集美濃の家づと』（寛政七年刊）、『古今集遠鏡』（寛政九年刊）などがある。また、後世風歌の実作も生涯を通して続けた。

このように万葉集の研究と古風歌の実作、そして後世歌の研究と後世風歌の実作、といった行為は果たして両立するのか。まず、研究に関しては、十分に両立させることはできるだろう。時代が異なるとはいえ、同じ和歌ジャンルのことであるから、共通する知識基盤を備えていれば、ある程度は応用が利くからである。だが、詠歌はどうか。⁽³⁾古風歌を詠むことと後世風歌を詠むことは両立するのか。また、両立するとすれば、それらをどのように習得すればよいのか。これらの難問に対して宣長は次のような回答を用意した。

さて吾は、古風後世風ならべよむうちに、古と後とをば、清く

〔問6〕 この文章の展開を説明したものとして最も適切なのは、次のうちではどれか。

ア 最初に二つの判断を比べて「美しさ」についてその判断の矛盾点を説明し、次にカントを引用しながら認識の方法について述べ、最後に美しさを認識する仕組みに言及している。

イ 最初にバラの美しさについて二つの視点から説明し、次にプラトンやカントといった古典的な考え方を発展させて述べ、最後に具体例を交えながら美しさとは何かについて言及している。

ウ 最初にバラが一般的には美しいものであるという世間の認識を説明し、次にバラを美しいと認識するプロセスを哲学的な観点から述べ、最後に美しさとは何かという謎について言及している。

エ 最初に概念がなくても美しさを判断できる理由を説明し、次に悟性や構想力で人がどう経験を認識するかについて述べ、最後に美しいという認識は錯覚であることについて言及している。

〔問7〕 国語の授業でこの文章を読んだ後、「美の普遍性」というテーマで自分の意見を発表することになった。このとき、あなたが話す言葉を具体的な体験や見聞を含めて二百字以内で書け。なお、書き出しや改行の際の空欄、や。や「などもそれぞれ一字と数えよ。

〔問4〕⁽³⁾ 認識のメカニズム とあるが、このメカニズムにおいて構想力はどのような働きをしているか。その説明として最も適切なものは、次のうちではどれか。

ア 現実の複雑な事象をまとめ、すでにある概念に当てはめて理解することによって悟性を支援している。

イ 複雑な要素を無数に含む現実から、情報を抽出し、正確に分析して結論を見いだしている。

ウ 概念になる前の段階で、現実をどう整理すればいいかという枠組みを考え、全体の見通しを立てている。

エ 個々の事実を論理的に分類し、そこから新しい法則性の型を導き出すことで、現実を概念化している。

〔問5〕⁽⁴⁾ この事態 とあるが、その内容として最も適切なのは、次のうちではどれか。

ア 構想力が悟性の指示なしに図式化の働きをし、悟性が機能できなくなってしまうという事態。

イ 本来、悟性の指示に従って働く構想力が悟性を介さず、図式化を果たしてしまうという事態。

ウ 構想力独自に概念を作り出して、悟性が行う図式化とは異なる図式化を行ってしまうという事態。

エ 通常、構想力だけで行う図式化に悟性も加わり、ともに図式化を行ってしまうという事態。

〔問2〕 の中に入る言葉として最も適切なのは、次のうちでは

どれか。

ア このような美の条件は文化によって異なるが、どの文化の条件も知り得ない

イ 美しさには明確な条件があり、その条件を満たすものだけが美しいとされる

ウ 人はそれぞれに美の条件を持っており、その条件が普遍的な美を作っている

エ これこれの条件を満たせば美しいと言える、そのような条件は考えられない

〔問3〕⁽²⁾ 美の場合は、構想力と悟性が主人公というわけです。とある

が、筆者は構想力と悟性がどのような力であると述べているか。

その説明として最も適切なものは、次のうちではどれか。

ア 構想力とは存在しないものを感覚的にとらえる力であり、悟性とは対象を概念にして理解し、そこからパターンを見いだす力である。

イ 構想力とは目の前にないものを頭の中に思い描く力であり、悟性とは対象を直感的にとらえて事態を理解する力である。

ウ 構想力とは失われたものを再び生み出す力であり、悟性とは対象を概念的にとらえ、一定の法則や秩序を見極める力である。

エ 構想力とはこれまでの経験をもとに未来を予測する力であり、悟性とは対象に自分なりの意味を見つけたす力である。

しかもその図式化の仕事を脇で見ていた悟性が、この図式化の結果の中に、お得意の概念的思考で規則性を見いだしてしまう場合がある。いつもは悟性が指示を出していたのに、悟性の指示無しで両者のコラボレーションが成立してしまう状態です。自分が何かを頼んだわけでもないのに熱心に仕事をしている部下を見た上司が、部下の書いているレポートに目が行って、「君、それは何のレポートなの!? すばらしいじゃない!」などと感動する事態とでも説明すればいいでしょうか。

カントは⁽⁴⁾この事態を説明して、構想力が概念なしで図式機能を営むと言っています。その結果に悟性が規則性を見いだすわけです。概念を前提していないのに、対象に規則性が見いだされる。規則はなかったのに、まるで規則にしたがっていたかのように、「こうであるべきだ」と感じられるというわけです。これが美の正体なのです。

(國分功一郎『手段からの解放』(一部改変)による)

〔注〕 プラトン——古代ギリシアの哲学者。

アイデア界——プラトンの思想で、永遠不変の理想が存在する世界。

『判断力批判』——十八世紀ドイツの哲学者、カントの著した哲学書。

アクター——行為を担(にな)うもの。ここでは比喩的に、心の働きそれぞれの役割を指す。

プレゼン——プレゼンテーションの略。人前で意見や考えを説明すること。

〔問1〕⁽¹⁾ (一) 趣味判断「このバラは美しい」と (二) 論理的判断「バラというものは一般に美しい」の違いについて見ていきましょう。

とあるが、趣味判断と論理的判断の違いについての説明として最も適切なものは、次のうちではどれか。

ア 論理的判断は社会的な原理を前提として判断しているのに対し、趣味判断は個人的な経験から導かれる原理をもとに判断しているという違い。

イ 論理的判断は一般的な通念を前提として判断しているのに対し、趣味判断は通念を前提とせず、個別の対象をそれぞれ判断しているという違い。

ウ 論理的判断は経験から定義付けられたものによって判断しているのに対し、趣味判断は初めて見る対象に新たに定義付けられたものによって判断しているという違い。

エ 論理的判断は観念を前提とせず、個別の対象を一般的に判断しているのに対し、趣味判断は一般的な観念に基づいて判断しているという違い。

構想力というのは想像力、イマジネーションのことです。カントの邦訳では伝統的に、「想像力」ではなくて「構想力」と訳されてきました。

「構想力」という言葉の力強さが、カントがこの言葉に込めたニュアンスをよく伝えているからではないかと思えます。

カントは、構想力のことを、現前していなくともその対象を直観する能力だと言っています。これは僕らの想像力という語の使い方にも一致するものでしょう。たとえば、未来を想像してみるというのは、目の前にない未来を、目の前にないにもかかわらず、何らかのデータとして受け取ることを意味しています。そう考えると、構想力というのはすごい能力です。存在しないものを存在させてしまう魔法のような力です。人間にはこの魔法のような力が備わっているのです。

悟性は日常語ではなじみのない語ですが、英語では「アンダースタンディング」と訳されます。理解力のようなもので、概念的思考を担当しています。概念的思考とは、対象を概念として把握することであり、概念として把握するとはそこに何らかの規則性を見いだすことを意味します。

たとえば、たき火に近づいて熱いと感じた時、熱い炎に近づいたから熱いのだとこの事態を理解したならば、その人は原因と結果という因果性の概念を用いていることとなります。この具体的な経験の中に、規則性を見いだしているわけです。

しかし、そのようにして経験を概念化するためには、ナマの経験のままではだめで、これを概念にうまくフィットするようなものに変えなければなりません。現実の経験はあまりにも複雑な要素を無数に含んでお

り、これをたとえば因果関係という概念に当てはめるには、何らかの形式化が必要なのです。

この形式化を「図式化」と言い、カントによれば物事を認識する際、構想力がこの図式化を担当しています。なぜ構想力がこれを担当しているのかというと、多様な現実を概念で扱えるようにするためには、既知の概念の手前で、現実にははめる型のようなものを毎度作り出さなければならぬからです。整理の仕方を考えるととってもいいかもしれません。

ここで、構想力もつ、目の前にないものを作り出す作用が大きな役割を果たすというわけです。構想力は、悟性が現実の表象をうまく扱えるように、悟性の方を向いて、悟性のことを考えながら、この図式化という作業を行っています。カントは³⁾認識のメカニズムをこのように説明しました。

いま、認識においては、構想力は悟性の方を向いて、悟性のことを考えながら、図式化を行っていると言いました。つまり、主導的な役割を果たしているのは悟性です。構想力はこの場合、上司がプレゼン*で使う資料の整理を任せられ、上司がプレゼンをやりやすいようにそれらをレポートにまとめている、そんな上司想いの部下のようなものです。

ところが、しばしば、この構想力と悟性の関係が一変する不思議なことが起こります。見たこともない素晴らしい対象に出会った時、構想力が悟性から頼まれていたわけでもないのに、悟性の都合など考えもせず、その対象に引き込まれ、それについて省察を続け、その図式化を行ってしまうということが起こるといえるのです。

3

次の文章を読んで、あとの各問に答えよ。（*印の付いている言葉には、本文のあとに〔注〕がある。）

(1) (一)趣味判断「このバラは美しい」と(二)論理的判断「バラというものは一般に美しい」の違いについて見ていきましょう。この場合、違いそのものは非常に単純です。

論理的判断の場合、「バラというものは美しいものである」という一般的な概念が前提になっています。その人が何度もバラを見てそのような概念を形成した場合もあってしょうし、一般にバラというのは美しいものの象徴ですから、世間からその概念を受け取ったこともあるでしょう。

それに対して、「このバラは美しい」という判断は、あくまでもこのバラに対して下されるものです。美しい対象は常に個別的であり、その人がはじめて出会った対象です。それまでに何度もバラを目にしたことはあっても、今、ここで出会ったこのバラは個別的であり、その人にとってはじめて出会った対象に他なりません。ですから、「美しい」という判断は概念を前提にできないのです。

概念を前提にしているか否か。これが(一)と(二)の違いです。美についての判断は、美しさとは何か、何が美しいものかを説明する概念を前提にしないところに最大の特徴があります。

しかしここに一つの謎が生まれます。概念がないということは、何らの規則もそこに前提できないということです。つまり、

ということ

す。にもかかわらず、我々は「美しい」という判断を下し、その判断に誰もが同意することを確信し、しかも、大抵の場合には美しいものには普遍性があるわけです。

もちろん、大抵の場合には美しいものに普遍性があるとはいっても、美しいとされている対象をかき集めたところで、美しさの条件が得られるわけではないし、我々はそのような条件を学んだから美の判断を下すわけではない。

これが美しさの謎です。たとえばプラトン^{*}だったら、僕らがこの世に生を受ける前に、イデア界において美のイデアを見ていたからだと説明するでしょう。今ではこのような考えを真に受ける人はいません。しかし、イデアのようなものを前提せずに、どうやって先の謎を解けばよいのでしょうか。イデア界の存在は信じないとしても、美の本質のようなものがあると考えるのは少しもおかしなことではないのです。

イデアに頼ることなくこの謎に果敢に取り組んだところに、『判断力批判』のすごみの一つがあります。カントは個人的な判断が、それを超えた普遍性を要求するものにまで高まる仕組み、まさしく、高次の能力が発揮される仕組みを解き明かそうとしたわけです。

この仕組みの中で大きな役割を果たすのが構想力と悟性です。カントは人間の心を、感性、構想力、悟性、理性という四つの^{*}アクターが働く職場のようなものと考えました。その時その時の仕事に応じて、これら四つのアクターの役割が変わります。特に、どれが主導的役割を果たすかが変わります。⁽²⁾美の場合は、構想力と悟性が主人公というわけです。

す。中学校の時に選んだ理由との変化を調べてみるのもおもしろいかもれません。

生徒A…この後の場面を読んでいくと、もっとわかることがあるかもしれませんね。この後の部分も読んでみようと思います。

先生 …林田との出会いから色々と考えてことができましたね。もっと深く読んでいけるといいですね。

X
の選択肢

A 風汰が保育士になって不安だな

I 職場体験で保育士の仕事の良さを体感できたからだ

ウ 実習先の子どもたちは風汰が好きだった

エ 中学生の頃抱いた夢を実現したのは素晴らしい

〔問5〕 本文の表現の特徴について説明したものとして最も適切なのは、次のうちではどれか。

A 風汰の頼りない部分を描くために、粗雑な言葉を多く用いた発話にしている。

I 擬音語や擬人法を多用することで、子どもらしい行動をわかりやすく伝えられるようにしている。

ウ 子どもたちの話す言葉をひらがな表記にしたり、長音を用いたりして、幼さを表している。

エ 保育園での出来事を、日常の一場面としてリアルに伝わるように、誇大化して表現している。

〔問4〕 次の会話は、昨日、林田と再会したせいだろうか。とあることに対して、「林田とは誰か」と生徒が先生に質問した様子である。会話文中の〔X〕、〔Y〕に当てはまる最も適切なものは何か。ただし、〔X〕はあとから選べ。〔Y〕は【資料】中から一語で抜き出せ。

生徒A…先生、ここで出てくる林田とはどんな人ですか。

先生…林田は、風汰が中学校時代の職場体験で行った保育園で先生をしていた人です。実は、本文の前の場面で電車の中で再会しています。そのときの場面を【資料】で見せますね。

【資料】

「それにしてもびっくりだわ。」

「そつすよね、偶然っていうか。」

「じゃなくて。」と、林田は小鼻をふくらませた。

「きみが保育士になってるってこと。」

ああ、と中学のときの職場体験を思い出して風汰は肩をすぼめた。あのとき風汰が体験先に保育園を選んだのは、保育に興味があったわけでも、子どもが好きだったわけでもない。単に、子どもとあそんでいけばいいだけのラクな職場だと思ったからだ。ところがその思惑は見事にはずれた。子どもたちはうるさい、きたない、しつこくて面倒くさい。そのうえ、担当保育士の林田にはこき使われるし、怒られるしと散々だった。

「斗羽君のあとも、毎年、職場体験の子たちが来たけど、斗羽君はダントツだった。」

「マジっすか？」

「とんでもなさがね。」

生徒A…風汰が保育士になったことに驚いていますね。

生徒B…本文にもある、風汰が職場体験で保育園を選んだことに対する後悔も、【資料】を読むとより分かりますね。

生徒A…林田先生はとんでもない風汰が先生になったと思ってるんですかね。

先生…どうですかね。林田先生は【資料】のすぐ後の場面で、〔X〕というようなことを言っています。

生徒B…ということは、とんでもなさがダントツだったとは言いながらも、子どもたちの反応を見て、風汰に保育士としての資質があったことを分かっていたのかもしれないね。

先生…風汰が保育士として働いていることを知って、職場体験のときの風汰を思い出して言ったんでしょね。

生徒A…だとすると、林田先生は風汰が保育士になるかと思っていましたですかね。

先生…それは分かりません。

生徒A…風汰は何かきっかけで保育士になろうと思ったのかな。

生徒B…風汰は中学生の時、職場体験に安易な理由で保育園を選んでいきます。けれど体験してみると〔Y〕とは違ったと思っています。

〔問2〕⁽²⁾ 風汰の目にはまるでマジックのように映った。とあるが、な

ぜ風汰には「マジックのように」思えたのか。その説明として最も適切なものは、次のうちではどれか。

ア 子どもたちに誰も声をかけなくても、次に何をするのかを全員が理解して、状況に合わせた対応をすることができるから。

イ 子どもたちは坂寄を信頼していて、坂寄の音楽による合図の後のどんな指示も受け入れ、動いているから。

ウ 子どもたちが一日の生活リズムを把握し、先生たちに怒られないように、次にやるべきことを必死に考えて行動しているから。

エ 子どもたち全員に向けて一斉に指示しなくても、食事の準備が始まると、子どもたちが状況を理解して動き始めるから。

〔問3〕 本文に描かれる風汰像として最も適切なものは、次のうちではど

れか。

ア 子どもに指摘されるような多少くだけた言葉遣いではあるが、保育士として子どもたちとコミュニケーションをとって、仕事に対応できる人物。

イ 子どもたちに対して優しさは見せながらも同僚に対しては無骨な言葉遣いにより、仕事においてうまくいかない部分があり、周りに心配ばかりかけている人物。

ウ 周囲に気を配ることができるような丁寧な言葉遣いで、子どもたちからも同僚からも信頼され、リーダーシップを発揮して園の中心として活躍している人物。

エ 素っ気ない態度と言葉遣いで子どもたちに接しているが、冷静沈着に保育士の仕事に熱意を持って取り組み、着実に実力をつけてきた人物。

に配膳をするのは、汁物と麦茶、それから年齢の低いノコちゃんの食事だ。今日はそれらを中込が手際よく行っている。

六時を少し過ぎたところで「いただきます。」をして夕食になる。食事中、一歳児のノコちゃんには二宮がマンツーマンでつき、おかわりや片付けのサポートは中込、もう一人の早番保育士、井浦茉莉絵は奥の和室に子どもたちの布団ふとんを敷いていく。遅番の風汰と坂寄は子どもたちといっしょにテーブルについて食事をする。

「風汰先生は全部大盛ね。」

トレーの上を見て二宮が言うと、子どもたちは大きな口を開けて笑う。口の中が丸見えだ。

「食つてるときは手を当てる。」と風汰が言うと、「くっつてるじゃないよ、たべてるだよ。」とまた芹香ちゃんに注意された。

「はいはい、食べているときは手を当てる。」

そういえば芹香ちゃんみたいな子がエンジェル保育園にもいたな、とふと思いだした。昨日、林田と再会したせいだろうか。

中学生のときの職場体験はたった五日間だったけれど、一日一日がやたらと長く感じて、体験先に保育園を選んだことを心底後悔しまくった。そんな自分がまさか保育士になっているとは……。人生ってのはつくづくわからない。

(いとうみく『蒼天のほし』による)

〔問1〕⁽¹⁾ こういう男がモテるんだろうな、将来。と風汰は額を搔かいた。

とあるが、風汰はなぜそのように思ったのか。その説明として最も適切なのは、次のうちではどれか。

ア 散歩から帰ってきた翔真が、洗面所で手洗いをしている時にふざけて泡で遊び始めていたから。

イ 散歩から帰ってきた翔真が、留守番組の子たちに自分でつんだ猫じゃらしをおみやげとして渡していたから。

ウ 散歩から帰ってきた翔真が、無邪気な態度で留守番組の子たちに猫じゃらしを見せびらかしていたから。

エ 散歩から帰ってきた翔真が、留守番組の子たちから注目を浴びようとして、散歩中に猫じゃらしを摘んで準備していたから。

芹香ちゃんは色鉛筆で絵を描いて、拓土君は中込からミルクを飲ませてもらっている。

それぞれが思い思いに過ごしているなかに、早番の保育士二人が入っている。

風汰はバンダナを頭に巻くと、保育室に折りたたみ式の長テーブルを三台開き、二台のテーブルにイスを並べていく。もう一台は配膳台として廊下に近い場所に設置する。三台ともにテーブルの上をアルコールで消毒し終えると、廊下をはさんで向かいにある調理室の窓を開けて、「準備オッケーっす。」と声をかけた。

カウンター式の配膳棚の上に、おひつと煮魚が並んだ大皿がすでに置いてある。

「ありがとうございます、じゃあ運んでください。」と、園長が鍋を配膳棚に置いた。

夕食の調理は主に園長が担当している。

「りようかい！」と、風汰は、おひつ、けんちん汁の入った鍋、煮魚の盛られた大皿とキュウリとわかめの酢の物が入ったボウルを保育室へ運び、イスを置いていない長テーブルの上に横一列に並べていく。すると、絵を描いていた芹香ちゃんが色鉛筆をケースに入れ始め、萌ちゃんもスケッチブックを閉じた。その向こうにいる明日奈ちゃんも絵本を本棚に戻している。

ここで働くようになって風汰が最初に驚いたのはこれだった。実習に行った園では保育士が大きな声で片付けを促したり、音楽を合図に次の活動を促していたが、ここでは、散歩に行くときも、食事のときも、保育士が全員に向けて一斉に指示をすることはほとんどない。

新人だった風汰が驚いていると、坂寄はなんでもないのでこのように言った。

「だいたい你的生活リズムは子どもたちもわかってるからね。小さい子も大きい子たちが準備をし始めれば、ごはんなんだなってわかるし、靴下を履いたり帽子をかぶっている子がいたらお散歩に行くんだってわかる。保育士は周りにいる子ども一人か二人に声をかけるだけで十分なの。」

少人数だからできることもかもしれないけどね、と坂寄は付け加えたが、

⁽²⁾ 風汰の目にはまるでマジックのように映った。

「ふーたせんせい、まだあ？」

目の前に萌ちゃんと明日奈ちゃんがトレーを持って立っている。

「ごめんごめん、はい、ごはんどれくらいにする？」

「ちよつとすくなめ。」

「じゃあ、ひと口ぶん減らすか。」

風汰は気持ち少なめにごはんを盛り、「はいどうぞ。」と萌ちゃんのトレーにのせた。

「明日奈ちゃんはどれくらいにする？」

「うんとね、いっぱい。」とけらけらと笑う。

「よし、大盛！」

ごはんとおかずは、三歳くらいになるとこういうやりとりをして保育士がよそい、それを子どもたちがおのおのテーブルに運ぶ。調理室で手伝いをしていた坂寄も戻ってきて、おかずの煮魚、キュウリとわかめの酢の物も同じように大きさや量を聞きながらよそう。保育士がテーブル

1

次の各文の——を付けた漢字の読みがなを書き、かたかなの部分に当たる漢字を楷書で書け。

- (1) 先生は落ち着いた挙措でいた。
- (2) 商店街で鼓笛隊が演奏していた。
- (3) 若人の集いが行われた。
- (4) 友人と話して心が和んだ。
- (5) 役所からタイチヨウした。
- (6) 昨年、ハ克蘭カイが開催された。
- (7) ヒントからカツロを見いだすことができた。
- (8) 海岸線にツって走る。

2

次の文章を読んで、あとの各問に答えよ。

二十二歳の斗羽風汰は、保育士をしている。その保育園には、園長をはじめ、中込、坂寄、二宮、井浦茉莉絵が働き、五歳児の芹香、四歳児の翔真、萌、明日奈、三歳児の琉生、一歳児のノコちゃん、〇歳児の拓士たちが通っている。夕方、風汰と中込は、芹香、翔真、萌、ノコちゃんたちを連れて散歩に出かけた。本文はその後が続く場面である。

園の周りをぐるっと一周して園に戻ると、子どもたちは洗面所へ直行した。

「これもって。」と、翔真君は握っている数本の猫じゃらしを風汰に渡した。ぶくぶくと泡を立てて指の間まで丁寧^{ていねい}に洗う。茶色い泡になったと笑ったり、泡に息を吹きかけたりしている。

「きれいになった!」と、戻って来た翔真君に猫じゃらしを返すと、足音を立てて保育室へ駆けて行った。留守番組の子たちにお散歩の収穫物を見せびらかしに行ったのだろうと思っていると、「おみあげ!」と翔真君はブロックをしていた琉生君とぬりえをしていた明日奈ちゃんに一本ずつあげていた。

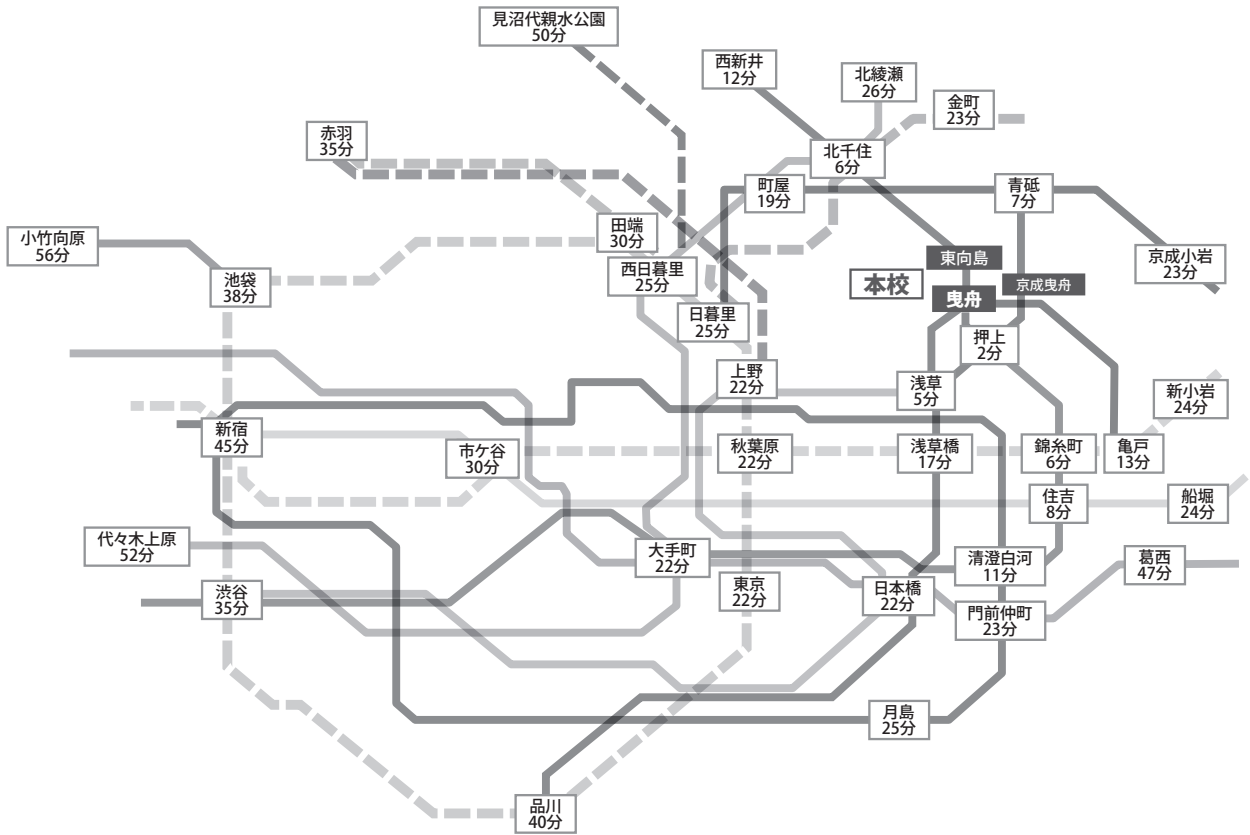
(1) こういう男がモテるんだろうな、将来。と風汰は額を搔^かいた。

しばらくすると調理室からご飯の炊ける甘い匂いがしてきた。夕食までの時間は、少し落ち着いた雰囲気になる。奥の畳の部屋で翔真君と琉生君は新聞紙を巻いてハッシュレンジャーの剣づくりに夢中になっているし、明日奈ちゃんはごろんとしながら絵本を開いている。萌ちゃんと

国
語
問
題

墨田川高校アクセスマップ

時間は曳舟駅または京成曳舟駅までの所要時間です。



周辺案内図

東武スカイツリーライン

東向島駅 徒歩6分

東武亀戸線・スカイツリーライン

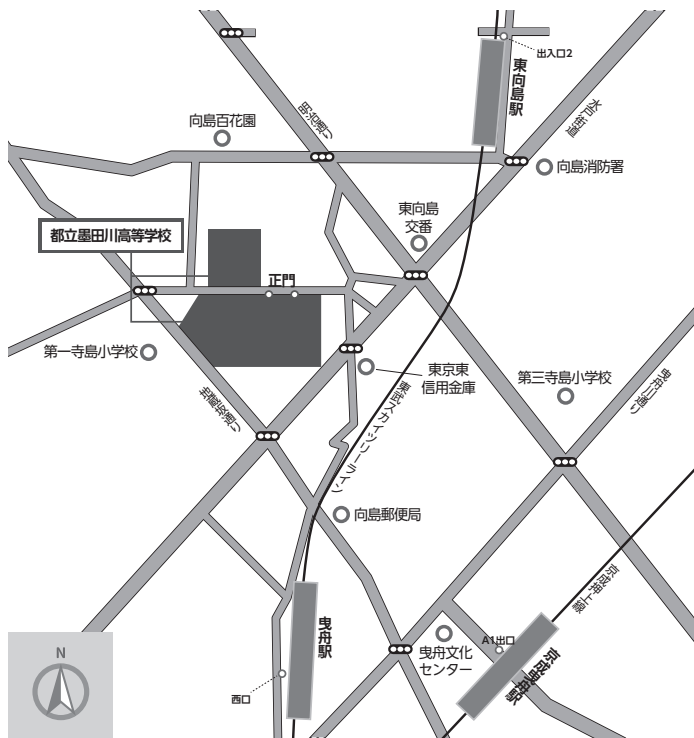
曳舟駅 徒歩8分

京成押上線

京成曳舟駅 徒歩10分

都営・京成バス

東向島広小路 徒歩3分



東京都立墨田川高等学校

〒131-0032

東京都墨田区東向島3-34-14

TEL 03 (3611) 2125

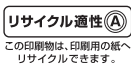
FAX 03 (3612) 6123

H P

<https://www.metro.ed.jp/sumidagawa-h>



石油系溶剤を含まない
インキを使用しています。



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。